

事務事業名	スポーツ教室運営事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係		
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 昭和52 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
施策名	6	生涯スポーツ・レクリエーションの振興						
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間			
法令根拠	スポーツ基本法							
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	5 保健体育費	1 保健体育総務				
事業概要	市民ひとり1 スポーツの定着化を目指し、生涯スポーツの推進とスポーツ人口の底辺拡大を図るため、市民各層に対応できるよう、初心者を対象としたスポーツ教室を開講する。 R 2 年度 開講教室 (6 / 2 1 種目・6 / 2 8 教室) 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止多数 ZUMBA、女性ヨガ、こども体操、親子で少林寺拳法、アロハ、筋力トレーニング 終了後、継続的に行ってもらうため、既存の愛好会の紹介を行っている。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動) 2年度実績 開催種目 (6 / 2 1 種目・6 / 2 8 教室) 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止多数 実施種目の選定・対象者・内容・時期・回数を決定し、講師に依頼する。参加者の募集。 講師に指導計画、実施内容の報告書の提出。 教室終了後、参加者にアンケート調査を実施。 3年度計画 前年度と同様 開催予定種目数 (2 0 種目・2 9 教室) 前年比較 実施 (1 4 種目増・2 3 教室増) 計画 (1 種目減・1 教室増)	④活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移							
	名称		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア	謝金	千円	914	888	795	115	1,128
	イ	種目数	種	15	16	18	6	20
	ウ	応募者人数 (定員)	人	726	721	746	160	1,040
エ								
オ								
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民、児童及び市内勤務者	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移							
	名称		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア	市民数	人	79,542	79,414	79,324	78,874	78,592
	イ	児童数	人	4,520	4,479	4,480	4,381	4,343
	ウ							
エ								
オ								
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民ひとり1 スポーツの実現を目指すため。	⑥成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移							
	名称		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア	参加人数	人	493	439	526	112	728
	イ	申込者の割合 (定員に対する申込数)	%	65.2	60.9	70.5	70.0	70.0
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	971	959	854	115	1,281
事業費計 (A)		千円	971	959	854	115	1,281	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) スポーツをする機会の提供により、スポーツの日常化が図られ、生涯スポーツの振興に結び付く。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 市民の健康、体力づくり活動に不可欠な生涯スポーツ振興のため妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 市民・児童及び市内勤務者を対象にスポーツ教室を開講し、スポーツ人口を増やしている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 市内小学校へチラシ配布、また市のホームページやおおかテレビ等、広報・メディア等を通じ、スポーツ教室のPRに努め参加者の増加を図っている。また、市民ニーズに対応した種目の検討を行っている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由) スポーツ部門は、他に類似事業がない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 事業費の大部分は、講師謝金であり削除余地はない。

3. 改革・改善方向の部

<p>(1) 改革の方向性(改革案・実行計画)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続</p>	<p>(3) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			/																		
	低下			/																		
<p>(2) 課題、課題の克服の方向性</p>																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える</p>		<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持			/																			
	低下			/																			
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>																							
<p>(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(4) その他2次評価会議で指摘された事項</p>																						